国際文化学科の必修外国語について

国際文化学科に入学した場合、1 年次に週 5 回、2 年次に週 3 回の外国語を必ず履修する必要があります。これを「必修外国語」と呼びます。

必修外国語の授業は 1 セメスター（半期）当たり 3 科目で 3 単位、一部の科目は 2 科目で 4 単位となります。1 年次に 14 単位、2 年次に 6 単位分の科目を履修する必要があり、これらの合計 20 単位を修得しなければ卒業することはできません。

必修外国語の種類

国際文化学科で開講されている必修外国語は、英語、フランス語、中国語、コリア語、および日本語（留学生のみ）の 5 つです。基本的に、英語は本学入学前に基礎を勉強した人を、フランス語、中国語、コリア語は初めてその言語を勉強する人を対象としています。また、日本語は留学生入試合格者（外国人留学生）を対象としています。留学生を含めて、自らの母語を外国語として選択することはできません。

入学時に上記の外国語のいずれかを選択し、登録する必要があります。入学時に選択した外国語を入学後に変更することはできませんので、慎重に選択（※）してください。なお、外国人留学生入試合格者は自動的に日本語を履修することになるため、登録の必要はありません。

※Web 入学手続システム（UCARO）では、必修外国語に係る履修言語について、第 1 希望～第 4 希望まで選択していただきますが、国際学部国際文化学科では、原則第 1 希望で調整しております。

履修パターン

（1 年次＝週 5 回）

英語を選択した場合は、英語を週 5 回学ぶ「一言語集中型」になります。留学生入試合格者は、日本語の「一言語集中型」になります。フランス語、中国語、コリア語のいずれかを選択した場合は、選択した言語を週 3 回と、英語を週 2 回学ぶ「二言語型」になります。

（2 年次＝週 3 回）

一言語集中型の場合、英語（留学生は日本語）を週 3 回受講します。二言語型の場合は、選択した言語を週 3 回受講します（つまり二言語型を選択した場合、2 年次から必修外国語としての英語の授業はありません）。

国際文化学科における外国語履修パターン

	1 年次	2 年次
一言語集中型	英語（週 5 回）	英語（週 3 回）
	日本語（週 5 回） ※留学生対象	日本語（週 3 回） ※留学生対象
二言語型	フランス語（週 3 回）＋英語（週 2 回）	フランス語（週 3 回）
	中国語（週 3 回）＋英語（週 2 回）	中国語（週 3 回）
	コリア語（週 3 回）＋英語（週 2 回）	コリア語（週 3 回）

一言語集中型（英語）の場合の科目配置

※実際の科目名は若干異なります。

※日本語の場合も同じパターンになります。

1 年次		2 年次	
1 セメスター（前期）	2 セメスター（後期）	3 セメスター（前期）	4 セメスター（後期）
Speaking I Writing I Reading I （1 単位×3）	Speaking II Writing II Reading II （1 単位×3）	Speaking III Writing III Reading III （1 単位×3）	Speaking IV Writing IV Reading IV （1 単位×3）
English Seminar I-A English Seminar I-B （2 単位×2）	English Seminar II-A English Seminar II-B （2 単位×2）		

二言語型（フランス語・中国語・コリア語のいずれか）場合の科目配置

※実際の科目名は若干異なります。

1 年次		2 年次	
1 セメスター（前期）	2 セメスター（後期）	3 セメスター（前期）	4 セメスター（後期）
初修外国語 I （3 単位）	初修外国語 II （3 単位）	初修外国語 III （3 単位）	初修外国語 IV （3 単位）
English Seminar I-A English Seminar I-B （2 単位×2）	English Seminar II-A English Seminar II-B （2 単位×2）	※2 年次は必修科目としての 英語の授業はありません。	

重要！

入学時に選択した外国語や履修パターンの変更はできませんので、必修外国語の登録については、上述した履修制度を十分理解した上で慎重に選択**（※）**してください。以下に、各外国語の担当教員からの説明・メッセージを記載しますので参考にしてください。

※Web 入学手続システム（UCARO）では、必修外国語に係る履修言語について、第 1 希望～第 4 希望まで選択していただきますが、国際学部国際文化学科では、原則第 1 希望で調整しております。

英語

英語については、習熟度別にクラスを編成しています。そのため、入学式直前の 3 月上旬～3 月下旬に英語の試験（TOEIC L&R-IP）を実施し、その成績でクラス分けをします。

一言語集中型（週 5 回の英語授業）を希望する学生は、「Speaking」、「Writing」、「Reading」をそれぞれ週 1 回（計 3 回）と、English Seminar（正式名称：English Communication Seminar）

を週 2 回受講します。二言語型を希望する学生は、English Seminar のみを週 2 回受講します。

Speaking、Writing、Reading のクラスでは、様々なトピックの英文を題材に、英語で受信する力や英語で発信する力の習得を目指します。

また、English Seminar では上級クラスと基礎クラスを用意しています。上級クラスでは、聞く、話す、読む、書くという 4 技能の総合的向上だけでなく、さまざまな文化について英語で学ぶ機会が提供されています。一方、基礎クラスでは、4 技能の総合的向上を目指すクラスと、高校で習った英文法を復習するクラスの 2 つが用意されています。

このように、国際文化学科の英語プログラムは多様なレベルに対応できるよう工夫されています。この機会を活用して英語力の向上を目指してください。

フランス語

フランス語は、英語とならぶ国際言語です。現代では英語が世界の共通語として一般化していますが、フランス語もアジア、アフリカ、南北アメリカなど世界 50 カ国で使われており、つい最近までヨーロッパでは共通語として用いられていました。今日でも EU の中心に位置するのはフランスと言ってよいでしょう。日本においても、文学を筆頭に幅広い分野に多大な影響を与えた言語であり、ファッションや料理などの文化界はフランス語の知識なしには考えられないのが現状です。

フランス語を勉強しフランスへ行くことは、皆さんにとって絶対に損することではありません。世界言語でありながら日本で勉強している人が少ないため、計り知れない希少価値もあります。この絶好の機会を利用してフランス語を学んでみてはどうでしょうか？

中国語

よく知られているように日本と中国は、経済面においても文化面においても、ますます密接な関係になってきています。このような時代の流れのなか、中国語が堪能であることは、将来のキャリアにおいて極めて有利になることは言うまでもなく、皆さんの今後の人生において大きな自信をもたらしてくれることでしょう。

また、中国と日本の間には 2 千年もの長きに及ぶ交流の歴史があり、言語・文化において共通するものが多数あり、特に言語面では日中両言語とも漢字を使用し、同形同義語が多数存在します。日本人にとって中国語の発音は簡単ではありませんが、読むことや書くことは難しくありません。

中国語や中国に興味のある皆さん、ぜひ中国語の世界へ第一歩を踏み出してください。

コリア語

コリア語はアルタイ語族に属し、日本語と語順が同じです。それゆえ日本人がコリア語を学習する場合、他の外国語よりも理解しやすい言語と言えます。英語は現代社会で最も広く使用されている国際言語ですが、英語を除いて日本人が一番早く習熟できる言語はコリア語です。日本と韓国は世界のどの国より、歴史的にも地域的にも密接な関係を維持しているため、言語を通じて最も効果的に異なる文化を体験することができます。日本文化の一つの原型を知るためにも、ぜひコリア語を選択してみてください。

日本語（留学生入試合格者対象）

「日本語 I～IV」および「日本語セミナー」を履修する大きな目的は、①授業をはじめとする日常生活全般において、日本語を正確に理解できるようになること（聞くこと・読むこと）、②自分の意見・報告・説明などを、正確に説得力をもって発表できるようになること（話すこと・書くこと）、③日本語の楽しさ・おもしろさを味わうこと、④日本語を自分の母語や他の言語と比較・対照すること、⑤場面・状況・相手に応じた日本語を使いこなせるようになること、そして⑥日本の文化や日本人の考え方を理解し、国際コミュニケーションのあり方について考えること、の 6 点です。

なお、「日本語セミナー」では特定の技能向上に特化した講義や、特定のテーマやトピックを扱った内容が準備されています。さあ、日本語で楽しみましょう。日本語を楽しみましょう。

国際文化学科生の英語力測定試験の実施について

入学式直前の 3 月上旬～3 月下旬に英語のクラス分けのため、TOEIC 試験（TOEIC L&R-IP）を実施します（試験はオンラインで実施します）。この試験は、選択しようとする外国語にかかわらず、入学予定者全員が受験する必要があります（外国人留学生を除く）。

試験日時や受験方法等については、本学ウェブサイトの新入生オリエンテーション用特設ページでお知らせしますので、早めに本学ウェブサイトをご確認ください。

以上